

# 佐鳴台地区社会福祉協議会総会

2015, 5, 9 19:00～ 協働センター

添付「佐鳴台地区社会福祉協議会総会資料」に基づき議事が行われ、全ての議案が承認されました。続いて、高齢者相談センター(地域包括支援センター)紹介、27年度から発足したCSW(コミュニティーソーシャルワーカー)からCSWってどんな人、どんなことをするの など説明があり閉会となりました。

## 写真

### 1、会長挨拶



### 2、センター長挨拶



### 3、議事



4、議事



3、高齢者相談センター説明



4、CSW とは？



5、閉会



2015. 5. 9.

佐鳴台協働センター

# 佐鳴台地区社会福祉協議会

## 総会資料

### 次 第

1. 開会のことば 鳥 居 副 会 長
2. あいさつ 多 賀 会 長  
浜松市中区役所社会福祉課長  
浜松市社会福祉協議会  
浜松地区センター長
3. 議 事
  - (1) 第1号議案 平成26年度事業報告
  - (2) 第2号議案 平成26年度会計報告
  - (3) 第3号議案 平成27年度役員を選任並びに組織
  - (4) 第4号議案 平成27年度事業計画案
  - (5) 第5号議案 平成27年度予算案
  - (6) その他
4. 高齢者相談センター佐鳴台（地域包括センター佐鳴台）より
5. 閉会のことば 鳥 居 副 会 長

## 1.

## 活動の成果

佐鳴台地区のすべての住民が明るく、豊かに生きていくためにお互いに協力し合い、幸せと健康に満ちた生きがいのあるまちづくりを推進していくことを目標として本年度も高齢者のための様々な要介護予防の活動とともに、人とのふれあいや交流を図ってきた。中でも、「老いてますます元気講座」に「認知症の予防講座」を開いたところ自治会の回覧だけで、105名（例年の倍以上）の方が聴講に来ました。このことは、だれもが認知症にはなりたくないことの裏返しととらえるべきと感じた。こうした傾向を来年度の活動に生かしていきたい。また、本年度は、全国社会福祉協議会会長より表彰を受けたことを記しておきたい。

## 2. 具体的な活動実績

事業名	実施月	活動内容
調 独居高齢者等調査	7. 8	◎ 敬老会対象者中特に独居高齢者を中心に災害時要支援者を自治会役員、民生・児童委員で確認した。
行 長寿を祝うお花見会	4	◎ 65歳以上の住民の健康と長寿を祝うお花見会を実施した。昼食とお楽しみ抽選会（自治会・社協）を楽しんでもらった。（参加者389名）
行 総会	5	◎ 佐鳴台協働センターホールで開催した。
行 敬老会	9	◎ 佐鳴台小学校で自治会連合会と共催した。式典後、チンドン、リハビリ体操、子ども連お囃子、小学校の金管バンド、中学校のブラスバンドを楽しんでもらった。また、中学生がボランティア活躍してくれ、地域のみなさんのおかげで盛会裏に終わった。参加者数348名。
活 相談日	水曜日午前中	◎ 民生・児童委員、事務局で毎週水曜日の午前中何でも相談を受けていました。必要あれば、関係機関との連携を密にしてきました。また、ふれあいコーナーを気軽におしゃべりできる場としてきた。
活 ふれあいサービス	水曜日午前中	◎ 電話で受付、ボランティアへ連絡。 派遣回数 18件（内4件は短時間無料） 派遣人数 15名（最大5時間）
活 輪投げ	土曜日午前中	◎ 住民各層に輪投げを広げる。引きこもりがちな方を勧誘してきた。（協働センター玄関前）



<p>活 老いてますます元気講座第7章</p>	<p>7</p>	<p>◎ 要介護予防のため65歳以上の住民を対象に7月に認知症予防講座を脳リハビリネットワークさんのご協力で開きました。誰もが認知症だけは避けたい思いからか、参加者は、105名に達し、椅子を追加する程でした。</p>
<p>活 サロン活動</p>	<p>随時</p>	<p>◎ ヘルスボランティア大地のおしゃべりサロン(6回) 和気あいあいと活動していて、参加者も年々増えている。社協の研修会にも積極的に参加している。</p> <p>◎ 県住サロン(6回) よく聞き、よくしゃべり、よく笑いをモットーに楽しく活動している。</p> <p>◎ 2丁目サロン(6回) 誰でも、みんなとおしゃべりしたり、ゲームをしたり、楽しく活動している。</p> <p>◎ 3丁目サロン(8回) いつまでも脳を活性化するために、新聞、テレビなどのニュースを五七五に読み込んで楽しんでいる。</p> <p>◎ 4丁目サロン(6回) おしゃべりをみんなで明るい輪をつくり和気あいあいと活動している。</p>
<p>活 親子柏餅</p>	<p>4</p>	<p>◎ 昭和日に因んで昭和を懐かしんで手間暇かけ、昔のと通りの柏餅づくりを親子でしました。餡を炊くことから始め、蒸し器でふかすところまでみなさん頑張りました。参加者24名。</p>
<p>活 昔の遊び</p>	<p>10</p>	<p>◎ 協働センターの「ふるさとまつり」の一環として子どもたちと年寄りの世代間交流を図る「昔の遊び」を開催しました。各老人クラブより大勢の方が参加してくださり、子どもたちもお年寄りもともに楽しい時を過ごしました。参加者約200名。</p>
<p>活 三世代交流事業「餅つき大会と輪投げ大会」</p>	<p>12</p>	<p>◎ 協働センターで子どもに餅つき体験をさせることを目的とし、子ども会、子ども会の親、老人クラブと三世代の交流を図ることができました。また、輪投げ大会や、昔の遊びも楽しんでもらいました。また、中学生のボランティアが大活躍をしてくれて会を盛り上げてくれて、ありがたかった。参加者は、子ども183名、親58名、老人クラブ36名、中学生25名、合計310名。 (歳末福祉事業補助金)</p>

活	新春を寿ぐ昼食会	1	<p>◎ ひとり暮らしの後期高齢者を招き、自治会長、民生・児童委員、ボランティアとともに昼食を楽しみました。また、余興のマジックショーも楽しんでもらった。</p> <p>(歳末福祉事業補助金)</p> <p>1・2・3丁目 協働センター 28名      県住 県住集会所 52名      4・5・6丁目 協働センター 38名</p>
広	地区社協だより・ニュースの発行	随時	<p>◎ 各戸配布、回覧、ホームページで地区社協の活状況や福祉に関する情報を流すと同時に地域福祉の啓発をしてきた。</p> <p>(「佐鳴の輪」で活動の記録の保存)</p>
研	研修会	随時	<p>◎ 社会福祉活動の理解を深めるためボランティア研修会、講演会に参加してきた。</p>
その他			<p>◎ ふれあいコーナーの活用状況 (1時間以上のもの)</p> <p>1. 社協・・・・・・・・・・・・・・・・68回      2. 民生・児童協・・・・・・・・42回      3. 自治会・・・・・・・・・・・・60回      4. 子ども会・・・・・・・・・・・・33回      5. ヘルスボランティア大地・・・・20回</p>

平成26年度佐鳴台地区社会福祉協議会決算書

収入の部

(円)

科 目	26年度予算	26年度決算	増 減	記 事
市 補 助 金	100,000	100,000	0	浜松市補助金
市社協補助金	103,000	111,360	8,360	地区社協運営費
市社協補助金	140,000	142,000	2,000	地区社協活動費
市社協補助金	250,000	300,000	50,000	歳末福祉事業
市社協補助金	20,000	20,000	0	ボランティアコーナー運営
市社協補助金	100,000	100,000	0	サロン運営事業
市社協補助金	15,000	13,000	-2,000	ふれあいサービス事務
連合会補助金	240,000	240,000	0	佐鳴台地区自治会連合会
その他の収入	50	66	16	預金利息
小 計	968,050	1,026,426	58,376	
繰 越 金	419,136	419,136	0	27年度花見会資金
合 計	1,387,186	1,445,562	58,376	

支出の部

(円)

科 目	26年度予算	26年度決算	増 減	記 事
事 務 費	100,000	108,406	8,406	事務用品、電話、インターネット他
広 報 費	150,000	5,260	-144,740	
活 動 費	1,000,000	872,237	-127,763	長寿花見会37.6万(弁当500円×389食+ 団子8.7万+お茶+他) ・餅つき大会10万 ・新春を寿ぐ昼食会20.3万 ・活動費(旅費+他)16.2万 ・保険料3万
備 品 費	50,000	5,579	-44,421	掛け時計
予 備 費	87,186	0	-87,186	
合 計	1,387,186	991,482	-395,704	

註：科目間の流用は認めるものとする

26年度収入 - 支出 = 1,445,562 - 991,482 = 454,080円 = 27年度繰越金とする。

平成27年4月7日

佐鳴台地区社会福祉協議会

会 長 多 賀 盛 次

会 計 笠 原 祥 充



平成27年4月7日

関係書類を精査し、適正に処理されていることを報告します。

佐鳴台地区社会福祉協議会

監 事 柳 田 宏

監 事 坂 本 眞 二

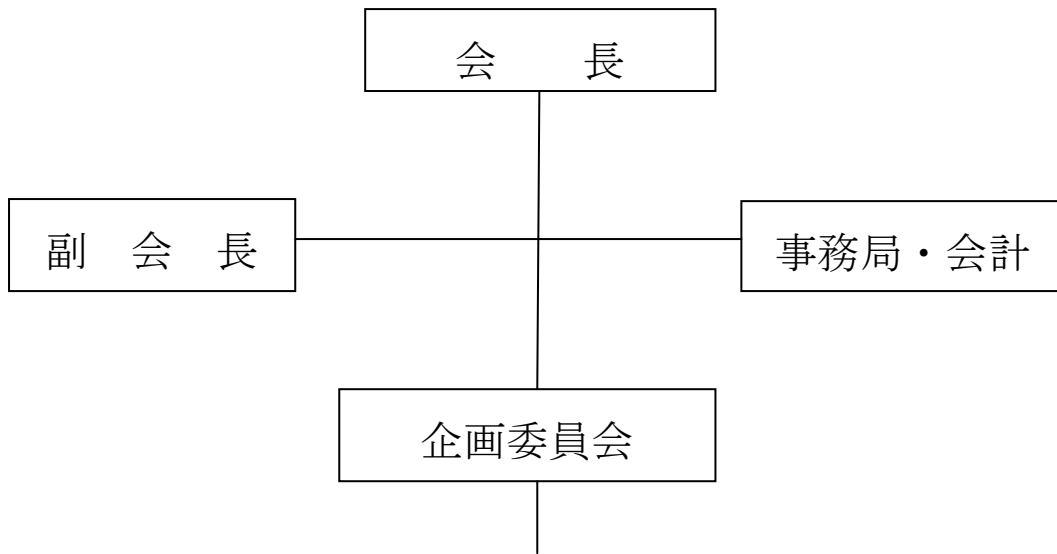


NO	役職名	氏名	所属団体
1	相談役	片桐智之	佐鳴台小学校長
2	相談役	市川浩教	佐鳴台中学校長
3	相談役	藤田秀典	佐鳴台協働センター長
4	相談役	吉田創	佐鳴台交番長
5	相談役	中条操	前自治会連合会会長 一丁目老人クラブ会長
6	会長	多賀盈次	自治会連合会会長 二丁目自治会長
7	副会長	鳥居公之	五丁目自治会長 地域安全推進員代表
8	副会長	嶋津歌絵	民生・児童委員総務
9	会計	笠原祥充	自治会連合会会計 民生・児童委員
10	事務局長	織田晴義	元地区社協会長 三丁目老人クラブ会長
11	同次長	高松麻里	民生・児童委員
12	監事	柳田宏	一丁目自治会長
13	監事	坂本眞二	三丁目自治会長
14	企画委員	橋本博行	県住自治会長 民生・児童委員
15	企画委員	高橋祥吉	四丁目自治会長
16	企画委員	高見穰吉	六丁目自治会長
17	企画委員	中村つぎ子	ヘルスポランティア大地
18	企画委員	富永正子	更生保護女性会
19	企画委員	松田守弘	佐鳴の輪編集
20	企画委員	池田友美	主任児童委員
21	委員	大石文雄	一丁目副自治会長
22	委員	内藤信章	二丁目副自治会長
23	委員	鈴木勝義	三丁目副自治会長
24	委員	豊田嘉代子	県住副自治会長 民生・児童委員
25	委員	鈴木儀雄	四丁目副自治会長
26	委員	二橋良彦	五丁目副自治会長
27	委員	梶田重子	六丁目副自治会長
28	委員	中条清美	民生・児童委員
29	委員	竹内俊子	民生・児童委員



30	委員	高柳光雄	民生・児童委員 二丁目老人クラブ会長
31	委員	高柳康広	民生・児童委員
32	委員	岩上京子	民生・児童委員
33	委員	川崎明美	民生・児童委員
34	委員	岡崎喜和子	民生・児童委員
35	委員	向後志都生	民生・児童委員
36	委員	山口かおる	民生・児童委員
37	委員	上口万鶴	民生・児童委員
38	委員	田代正光	民生・児童委員
39	委員	交渉中	主任児童委員
40	委員	木野進公	小学校PTA会長
41	委員	佐藤大	中学校PTA会長
42	委員	花谷雅史	体育振興会長
43	委員	小宮史朗	県住老人クラブ会長
44	委員	休止中	四丁目老人クラブ会長
45	委員	山田夏子	子ども会連合会長
46	委員	氏原忠喜	佐鳴台商店会繁栄会長
47	委員	鈴木成欣	佐鳴台小学校校医
48	委員	高平健一郎	佐鳴台中学校校医
49	委員	太田恵子	佐鳴台公民館同好会講師

佐鳴台地区社会福祉協議会組織(案)



安心・安全	福祉啓発	地域交流	子ども支援	広 報	ボランティア (含むボランティア育成)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 独居高齢者等調査</li> <li>・ 相談活動</li> <li>・ ふれあいサービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総会</li> <li>・ 各種講演会</li> <li>・ 健康講座</li> <li>・ アンケート調査</li> <li>・ 研修会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長寿を祝う花見会</li> <li>・ 敬老会</li> <li>・ 新春を寿ぐ昼食会</li> <li>・ 昔の歌をうたおう会</li> <li>・ サロン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 餅つき</li> <li>・ 柏餅づくり</li> <li>・ 昔の遊び</li> <li>・ 戦中戦後の暮らし</li> <li>・ あいさつ運動(登校指導)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社協だより</li> <li>・ 社協ニュース</li> <li>・ 佐鳴の輪</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふれあいサービス</li> <li>・ ボランティアグループの育成</li> <li>・ ボランティア研修会</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生・児童委員</li> <li>・ 自治会</li> <li>・ 事務局</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企画委員会</li> <li>・ 民生・児童委員</li> <li>・ 自治会</li> <li>・ 事務局</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局</li> <li>・ 自治会</li> <li>・ サロン主催者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども会、主任児童委員</li> <li>・ 老人クラブ</li> <li>・ 地域安全推進員他</li> <li>・ 事務局</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐鳴の輪編集者</li> <li>・ 事務局</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企画委員会</li> </ul>



第4号議案 平成27年度佐鳴台地区社会福祉協議会事業計画(案)

事業名	実施月	活動内容
安 独居高齢者等調査	7. 8	◎ 自治会または民生・児童委員で敬老会対象者中特に独居高齢者を中心に災害時要支援者等を確認する。
啓 アンケート調査用紙作成	8	◎ 前回の調査(2005. 8)から10年が経って、地域の状況も変化している。前回の調査項目を見直しながら来年度アンケートが実施できるよう調査委員会でアンケート用紙を作成し、配布し、地域住民の意識、意向を確認し、次年度からの活動に生かしていく。
ふ 長寿を祝うお花見会	4	◎ 65歳以上の住民の健康と長寿を祝うお花見会を実施する。昼食とお楽しみ抽選会(自治会・社協)を楽しんでもらう。(参加者385名)
啓 総会	5	◎ 佐鳴台協働センターホールで開催する。
ふ 敬老会	9	◎ 佐鳴台小学校で自治会連合会と共催する。1部と2部に分け、2部では演芸等を楽しんでもらう。
安 相談日	水曜日午前中	◎ なんでも相談。関係機関との連携を密にする。また、気軽におしゃべりできる場とする。
安 ふれあいサービス	水曜日午前中	◎ 電話で受付、ボランティアへ連絡する。 ◎ ふれあいサービスのボランティアの若返りを図る。
ふ 輪投げ・グランドゴルフ	午前中	◎ 住民各層に輪投げを広げる。引きこもりがちな方を勧誘する。(協働センター・佐鳴台公園)
安 健康教室	7. 2	◎ 要介護予防のため65歳以上の住民を対象に7月に認知症予防講座を、2月に歯の健康講座、健康体操、健康相談、ゲームを通して生活の活性を図る。
ふ サロン活動	随時	◎ ヘルスボランティア大地のおしゃべりサロン(6回) ◎ 1丁目サロン(10回)「マンドリンに合わせて」 ◎ 県住サロン(6回)「みんなで楽しく歌おう会」 ◎ 2丁目サロン(6回)「みんなで楽しくおしゃべりとゲー



		ム」	
		◎ 3丁目サロン（10回）【何でもかんでも五七五】	
		◎ 4丁目サロン（6回）「みんなで楽しくおしゃべり」	
子	親子柏餅	4	◎ 昭和日に因んで三世代で手作り柏餅づくりを実施する。 参加者7組17名。
子	昔の遊び	10	◎ 協働センターの「ふるさとまつり」の一環として子どもたちと年寄りの世代間交流を図る「昔の遊び」開催する。
子	戦中戦後のくらし	8	◎ あの戦中戦後の大変厳しい時代をどのように生き抜いてきたかを今の子どもに聞かせる。対象は小学5,6年生と中学生。 ① 従軍体験の中から ② 学徒動員、挺身隊体験の中から ③ 空襲体験の中から ④ 疎開体験の中から などなど ⑤ 焼け跡での生活など
ふ	世代間交流事業「餅つき大会と輪投げた大会」	12	◎ 協働センターで子どもに餅つきと昔の遊びを体験させることを目的とし、子ども会、子ども会の親、老人クラブと三世代の交流を図る。（歳末福祉事業補助金）
ふ	新春を寿ぐ昼食会	1	◎ ひとり暮らしの後期高齢者を招き、自治会長、民生・児童委員、ボランティアとともに昼食を楽しむ。また、余興も楽しんでもらう。（歳末福祉事業補助金） 1・2・3丁目 協働センター 県住 県住集会所 4・5・6丁目 協働センター
支	男性の為の料理教室	2	◎ 高齢を迎える男性の将来的な食生活の不安解消のためと脳の活性化のために料理教室を開催する。
子	登校指導	毎月第1月曜日	◎ 学校教育と地域住民とでのあいさつ運動を兼ねた登校指導の実施。（青少年健全育成会との連携）
ふ	昔歌を元気よく楽しく歌おう会	6, 10, 2, (3)	◎ 昔の歌をみんなで元気よく楽しく歌おう！をモットーに引き込みがちな方などを社協役員に声掛けをしてもらい枠をできるだけ広げていきたい。講師はすでに施設などでかつどうしている方を依頼してある。

<p>安 防犯講座</p>	<p>8</p>	<p>◎ 高齢者のオレオレ詐欺などの被害を食い止める上で常日頃の心得を事例をもとにした講話。協働センターホールで、講師は、中央署生活安全課に依頼する。</p>
<p>広 地区社協だより・ニュースの発行</p>	<p>随時</p>	<p>◎ 各戸配布、回覧、ホームページで地区社協の活状況や福祉に関する情報を流すとともに地域福祉の啓発をする。 (活動の記録の保存)</p>
<p>啓 講演会</p>	<p>1 1</p>	<p>◎ 「老いてますます元気」講座第7章を開催する。 「貧乏神様」から笑いと元気を授けてもらう。</p>
<p>ボ ボランティアグループの発掘</p>	<p>随時</p>	<p>◎ ふれあいボランティアの若返り。地区内のボランティアを発掘し、そして継続的な育成と支援をする。</p>
<p>研 研修会</p>	<p>随時</p>	<p>◎ 社会福祉活動の理解を深めるため特にボランティア研修会してもらい、実践化につながるようにする。また、社会福祉に関する講演会に参加する。(施設の見学も)</p>
<p>その他</p>	<p>随時</p>	<p>◎ 必要に応じ企画委員会で検討する。</p>

第5号議案

平成27年度佐鳴台地区社会福祉協議会予算（案）

収入の部

単位：円

科 目	26年度予算額	27年度予算額	増減	説 明
市社協補助金	103,000.	109,000..	6,000.	運営費補助金
市社協補助金	140,000.	147,210.	7,210.	活動費補助金
市社協補助金	250,000.	300,000.	50,000.	歳末福祉事業補助金
市社協補助金	20,000.	0..	-20,000.	ボランティアコーナー運営支援事業補助金
市社協補助金	15,000.	15,000.	0.	ふれあいサービス事務費
市社協補助金	100,000.	100,000.	0.	サロン運営事業補助金
市補助金	100,000.	300,000.	200,000.	市補助金
連合会補助金	240,000.	240,000.	0.	佐鳴台自治会連合会補助金
その他の収入	50.	50.	0.	預金利子
繰越金	419,136.	454,080.	34,944.	前年度繰越金(花見会資金)
合 計	1,387,186.	1,665,340.	278,154.	

支出の部

単位：円

科 目	26年度予算額	27年度予算額	増減	説 明
事務費	100,000.	100,000.	0.	電話代等
広報費	150,000.	180,000.	30,000.	地区社協ニュース印刷代等
活動費	1,000,000.	1,200,000.	200,000.	花見会40万円、講演会5万円、昔の遊び5万円、三世代交流餅つき大会12万円、新春を寿ぐ昼食会20万円、サロン活動13万円、男の料理教室等4万円、保険3万円、その他の活動18万
備品費	50,000.	50,000.	0.	備品費
予備費	87,186.	135,340.	48,154.	予備費(市からの補助金20万となった場合-10万円となる)
合 計	1,387,186.	1,665,340.	278,154.	

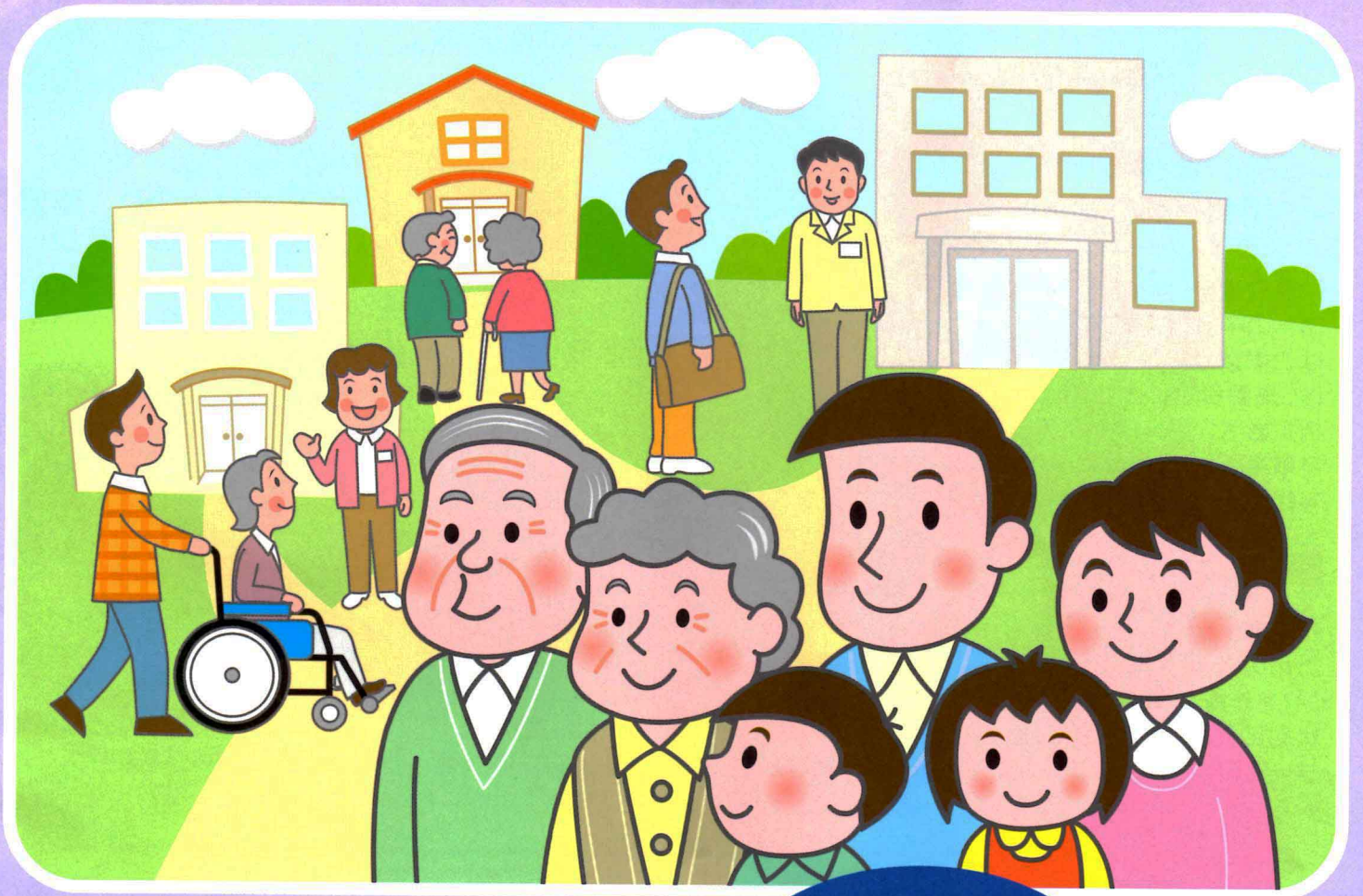
科目間の流用は認める。



頼りになります！高齢者の総合相談窓口

# 高齢者相談センター

(地域包括支援センター)



## 高齢者相談センターとは？ (地域包括支援センター)

高齢者相談センター(地域包括支援センター)は、高齢者の総合相談窓口として浜松市から委託された公的な機関で、市内に22か所設置されています。主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師等のスタッフが他の関係機関と協力しながら、高齢者本人やその家族から寄せられるさまざまな相談や悩みに応じ、必要な支援を行います。

高齢者相談センターは、皆さんの健康、生活、財産、権利などを守ります。相談は無料です。相談内容を決して、他に漏らすことはありません。気軽にご相談ください。

体調が悪かったり、家族の介護など相談に行けない場合は、スタッフが訪問します。

地域包括支援センターが  
わかりやすい愛称  
「高齢者相談センター」  
になったのじゃ！

出世大名  
家康くん





あなたの街の

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)です!!

「困っていること」  
「悩みごと」  
お知らせください。

地域で困っていることは  
ありませんか？  
一緒に考えます!!



### CSWってどんな人？

- 年齢や障がいの有無などに関わりなく、誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことができる福祉社会を実現する（＝**地域福祉**を進める）ために、浜松市と浜松市社会福祉協議会が連携して配置する**福祉の専門職**です。
- CSWについて法律で定められた資格要件はありません。浜松市では、相談業務の経験や福祉に関する資格（社会福祉士、精神保健福祉士等）を有し、CSW養成研修を受講した**浜松市社会福祉協議会の職員**をCSWに任命します。
- CSWは浜松市社会福祉協議会の**地区センター**に配置されます。区を単位に活動し、地域住民や福祉に携わる様々な機関・団体と情報交換や連携を図りながら、生活に困りごとを抱える人の**相談・支援**を行い、**地域での支え合いが広がっていくようお手伝い**します。



社会福祉法人  
浜松市社会福祉協議会



浜松市